

ノボケア ニュース

No.14

NOVOCARENEWS

ノボケア相談室

(フリーダイヤル)

0120-180363



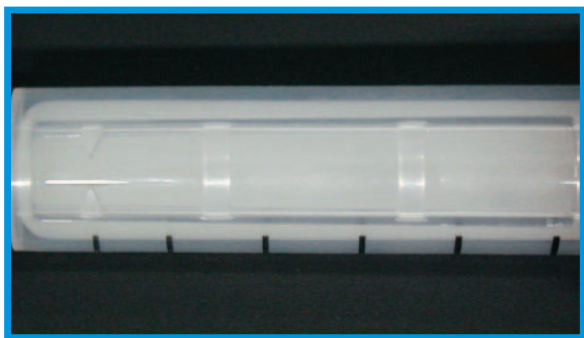
ノボノルディスクファーマ製品について、わからないことや困ったことがある場合は、上記にお問い合わせください。

受付：月曜日から金曜日まで（祝祭日、会社休日を除く）
午前9時～午後6時

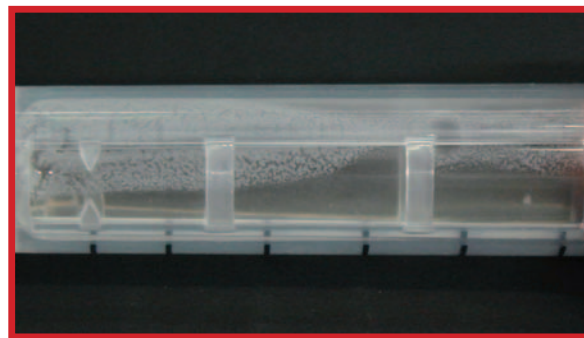
インスリンの懸濁製剤の変化について

インスリンの懸濁製剤が高温になるところに置かれると、混ざらなくなることがあります。インスリンカートリッジの内壁に付着物が見られたり、液中に塊や薄片が見られる場合、半透明になっている場合は使用しないでください。

正常な製剤
(懸濁させた後)



内壁に付着物が見られ半透明になった製剤
(懸濁できないので、使用しないでください)



インスリンの保存についての注意点

使い始めたインスリン製剤は冷蔵庫にいれなくて、室温で保管してください。

- 短期間の旅行などの際には、バッグや旅行カバンの中に入れて携帯して構いませんが、直射日光に当てたり、熱くならないようにしてください。
- 特にクルマの中は高温になることがありますので、絶対に放置しないでください。

未使用のインスリン製剤は冷蔵庫で保管しますが、凍らせないでください。

- 一部の家庭用冷蔵庫では、冷蔵庫の吹き出し口付近の温度が0℃以下になることがあります。吹き出し口からの冷風が直接当たる場所を避け、ドアポケットのバター置き場などに置くようにしてください。
- 冬の寒冷地では、クルマの中でも凍結することもあります。
- 一度凍らせたインスリンは、作用する時間が変わるなどして品質が保てませんので、使用しないでください。
- 凍結が原因でインスリンカートリッジがひび割れたり、ゴム栓がふくらんだり、カートリッジ内に大きな気泡ができることがあります。
- イノレット、フレックスペンなどは、凍結すると故障して注射できなくなることがあります。